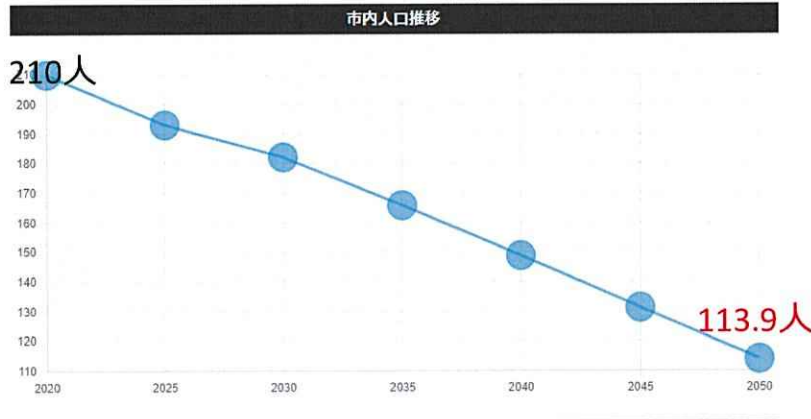


公務



公務員は、2020年は210人で、2050年は113人と約半減します。公務・行政サービスには、住民、教育、保健・医療・福祉、公共工事、環境管理、防災などのサービスがあり、人口が減っても一定数の人員が必要となります。



1. 住民サービス	住民票、戸籍、印鑑登録、選挙、税務などの対応
2. 教育サービス	公立教育機関、幼稚園、保育所、子育て支援施設の運営
3. 保健・医療・福祉サービス	医療機関、保健・福祉施設の運営、その他健診等
4. 公共工事サービス	社会インフラの建設、維持、管理
5. 環境管理サービス	ごみの収集、リサイクル、公害対策等
6. 防災サービス	自然災害への対策、避難所の運営、災害情報の提供

人口急減・超高齢化社会下における地方行政サービスの継続性

<https://kpmg.com/jp/ja/home/insights/2023/07/local-administrative-services.html>

39

【教育・公務】で「大切だと思ったこと」「気になること」「わからないこと」などをここにメモしてください。

公有財産・道路の管理費

公有財産建物維持管理費概算

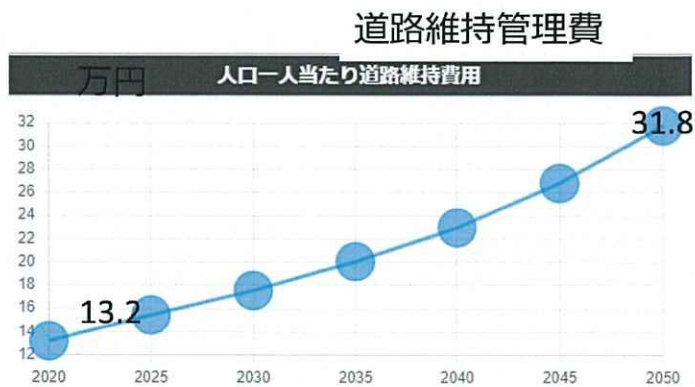
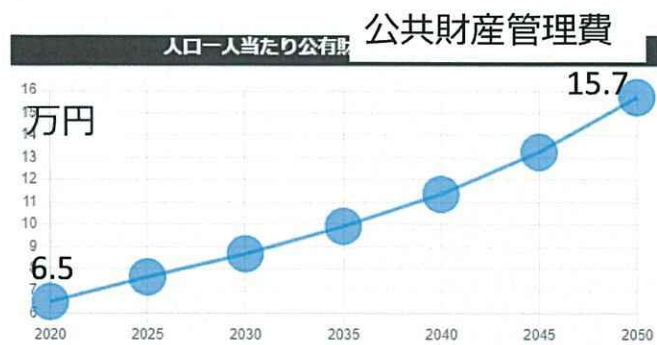
項目名 (2020年)	一戸町	岩手県
道路維持管理費概算	7.5億円	653.2億円
公有財産建物維持管理費概算	15.2億円	834.4億円
1人当たり道路面積	201.6㎡	—
1人当たり公有財産建物床面積	12.6㎡	—
1人当たり本庁舎床面積	0.4㎡	—

道路の維持管理費は 7.5億円
 一人当たり 6.5 万円
 公有財産建物の維持管理費は 15.2億円
 一人当たり 13.2万円
 人口 11480人

41

公有財産

道路



2050年

公有財産建物の維持管理費は
 道路の維持管理費は

町民一人当たり 6.5→15.7万円
 町民一人当たり 13.2→31.8万円 に上昇します。

公共施設（インフラ）の維持管理費の増大

人々の社会生活を支える基盤となる施設や設備（道路、橋、トンネル、堤防、公営住宅、上下水道など）のことを「**インフラ**」（infrastructure）といいます。

インフラは、**人口が最も多いときに合わせて整備**されてきました。

いま、人口減少によってインフラは**過大**になりかつ**老朽化**が進み、**改修費や維持管理費が増**えています。

人口が半分になっても維持管理にかかる費用は増え続け、一戸町民の大きな負担になります。

	2020年		2050年
公有財産建物の管理費	6.5万円	→	15.7万円 一人当たり
道路の管理費	13.2万円	→	31.8万円 一人当たり

人口減少に合わせてインフラの削減などを行う必要があります。

43

【公有財産などの維持管理】で「大切だと思ったこと」「気になること」「わからないこと」などをここにメモしてください。